

緒 言

- ・訓大附属総訓修了者の実態調査は、第1期修了以降の全修了者335名の動向について修了者側と事業所側との両面から調査したもので、修了者が訓練所で得た知識・技能が如何に活用され、企業内の生産活動の場に如何に適応しているかを明らかにした。今回はその実態のまとめを中心としたが、訓練の面でも生活指導の面でも多くの示唆を含んでおり、更に詳細な分析を行なって適応のための方途を明らかにして行きたい。
- ・旋盤訓練における技能習熟の過程については、さきに39年度その2の報告書において、訓練過程で指導員が詳細にわたる段取り、加工上の指示をしない場合の習熟過程を明らかにしておいたが、今回は集団指導の中での個人指導の一方策を試み、附属総訓機械科1年生21名について7カ月にわたって習熟過程を追跡した。今後更に分析を継続し、実技訓練における方向づけをしたい。
- ・技術革新に伴う技能労働の変化に関する調査は、さきに39年度その2の報告書をもって34事業所についての中間報告をしたものに更に40年当初実施した32事業所の調査結果を加えて分析したものである。
- ・熟練技能労働者の就職年令、学歴の調査は、30事業所の機械関係職種（機械工、仕上組立工等）202名についての実態を明らかにしたものである。
- ・今回の各調査に際して貴重なご回答を頂いた事業所各位に改めて厚く御礼申しあげます。
- ・調査研究部は本報告のほか、職業訓練職種作業分析シリーズとして本年度ガソリン・エンジン、自動車シャシ、形削盤、ボール盤、研削盤、溶解アセチレンガス溶接、鋳鉄鋳造作業、木材塗装について分析を完了し職務別に作業の仕方として別途報告します。

昭和41年 3月25日発行

編集者 調査研究部長 松本 洋

職業訓練大学校

東京都小平市小川西町2260

電話 0423(41)-3331